

11月26日

テーマ：「^{おそ}恐れ^{かた}ないで^{つづ}語り^{つづ}続け^{なさい}なさい」

せいしょくしょ ^しと ^{しょう} ^{せつ} ^{せつ}
聖書箇所：使徒18章5節～11節

◆^{きょう}今日のみことば

ある夜、主は幻によってパウロに、「^{おそ}恐れ^{かた}ないで、^{つづ}語り^{つづ}続け^{なさい}なさい。黙^{だま}ってはいけない。わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたを襲^{おそ}って、危^{きがい}害^{くわ}を加^もえる者^{もの}はない。この町^{まち}には、わたしの民^{たみ}がたくさんいるから」と言^いわれた。
使徒の働き18章9、10節

◆メッセージ

みなさんは、イエスさまのことを伝えたり、友だちを教会に誘ったりしたことがありますか。友だちにどう思われるかな、と心配になって、勇気が出せないこともありますね。パウロさんはいつも人々にイエスさまこそキリスト、救い主であると伝えました。パウロさんがコリントという街で伝道していたとき、神さまは「^{おそ}恐れ^{かた}ないで、^{つづ}語り^{つづ}続け^{なさい}なさい」と言われました。神さまはどうしてそんなことを言われたのでしょうか。



実は、パウロさんがイエスさまのことをお話しするとき、喜んで聞いてくれる人々は多くはありませんでした。信じる人もいましたが、暴言を吐いたり、反抗したり、パウロさんを殺そうとする人たちもいたのです。何度も辛い目にあったパウロさんの心はどんなだったのでしょうか。



そんなパウロさんに、神さまは強く語られます。「^{おそ}恐れ^{かた}ないで、^{つづ}語り^{つづ}続け^{なさい}なさい。黙^{だま}ってはいけない。わたしがあなたとともにいる」それに、「この町には、わたしの民がたくさんいるから」と。神さまはわたしたちをも同じように励ましてください。恐^{おそ}れ^{かた}ないで語り^{つづ}続け^{なさい}なさい。わたしがあなたとともにいる。あなたの周りにも、わたしの民がたくさんいるから、と。

その後、神さまの励ましを受け取ってパウロはなんと1年半もコリントでイエスさまのことを語り続けたのです。そうして、コリントにも神さまの民が集う教会が誕生することになったのです。

神さまは、私たちの心も知っていてくださって、励ましてください。勇気も与えてくださいます。自分の力で頑張^{がんば}って、ではなく、ともにいてくださる神さまの励ましを受けていきましょう。

◆^{いの}お祈り

イエスさまのことを伝えたいです。どうぞ勇気^{ゆうき}を与えてください。あなたを信じます。わたしのことも用いてください。

(武庫之荘めぐみ教会伝道師 鈴木雅也)